

第 3551 図

さなぎいちご

Rubus pungens Camb.
var. Oldhami Maxim.
(= *R. Oldhami Miq.*)



本州、四国、九州の深山に生ずる落葉灌木。枝に小刺を散生、花枝は短かく、数葉を互生する。葉は5-7小葉からなり、はじめ細毛があるが、後無毛又は散毛を有する程度となる。小葉は質薄く欠刻状鋸齒縁があり、或は多少分裂し、鋭頭、側小葉は卵形、鈍頭又は鋭頭、基部鈍形、頂小葉は稍大形、長さ3-4cm、菱状卵形又は卵状披針形、鋭尖頭、基部円形又は鈍形、花は枝頂に1個又は2個、小刺のある長梗を有し、萼に刺針を密生し、且腺毛を混え、萼裂片は5個、披針形、内面に伏毛が密生している。花弁は5個、白色、倒卵形、長さ約1cm。花托に短毛がある。

第 3552 図

まるばふゆいちご

一名こばのふゆいちご

Rubus pectinellus Maxim.



裏日本から南へ、四国、九州及び日本海沿いに北半島に至る間の樹林中に生ずる蔓性小灌木で、茎は細長く地上を匍って、所々発根し小刺を有する。葉は匍匐枝より出る短小な花枝の上に3-4個互生し、長柄があり、円頭心臟形、基部は深く凹入し、濃緑色を呈し、全面に直立する毛を多く生じ、邊緣に鈍鋸齒がある。小梗は直立し、葉柄と共に開出毛及び刺があり、夏日枝頂に小梗を立てて、1花を開く。萼の筒部は狭卵形で小刺が密生し、萼裂片は狭卵形で邊緣鋸裂し、縁辺に白色の短毛がある。花弁は5個、白色、狭倒卵形、萼裂片より遙かに短い。小核果は少数、稍大形で赤色に熟する。花托は有毛。

第 3553 図

しまばらいちご

Rubus Lambertianus Seringe



九州肥前及び肥後、台湾、南支に分布する落葉灌木。概形はミヤマフニイチゴに似て粗大、多く枝を分つて高さ1-2mとなり、枝上の刺は少しく鈎曲して硬く、扁平、茎上に葉を互生する。葉は長柄を有し、柄上にも鈎刺があり、広卵形、上面脈上に毛があり、下面は細毛密毛して灰褐色を呈し、鋭尖頭、基部心臟形、鋭い細鋸齒を有し、浅く3-7裂し、時に邊緣はただ波状を呈するに止る。繖房花序は枝頂に生じて細長い円錐形をなし、多数の小花をつけてやや垂下する。花は白色、萼筒は5裂し、裂片は狭卵形、鋭尖し、縁辺に白色短毛あり、花弁は5個、甚だ小形、長さ5mm許にすぎず、広い鏡形、果実は球形、暗赤色に熟する。

しろばなやまぶき

Kerria japonica DC.
var. albescens Makino

ヤマブキの一変種で、甚だ稀に庭園に栽植される品である。落葉灌木で、高さ1m内外、葉は緑色の細枝の上に2列互生し、卵形、鋭尖頭、基底は截形、乃至浅心臟形、邊緣に缺刻状重鋸齒があり、支脈は平行し、上面凹陷して、下面に隆起し、短柄を有する。晩春、新生の短い側枝の頂毎に各1花を開く。花は白色で淡黄色の陰りを有し、径3-4cmで、母種より小形、5萼片は淡緑色、花弁は5個、平開し、橢円形、短爪があり、先端は凹入し、屢々先端の両片が互に重って湾入部を囲む。

おおばさんざし

一名あらげあかさざし

Crataegus Maximowiczii Schneid.

北海道に稀産し、朝鮮、滿洲、樺太、東部シベリアに分布する落葉小喬木で、幼条には粗毛があるが、後無毛となり光沢ある紫褐色を呈するに到る。刺状の短枝は長さ3cm、葉は互生有柄で、卵形又は広卵形、両毛に軟毛があり、特に下面には密布する。先端鋭形、基部は広楔脚、通常3深裂し、裂片は更に欠刻状重鋸齒を有する。春枝端に円頂をなして、白花を密生、花序は有毛、花は径1-1.5cm許、萼は鐘状で有毛、裂片は5個、卵状披針形、花弁も、亦5個広倒卵形、又は扁平円形、雄蕊多数、花柱3-5個がある。果実は略々球形、熟すれば暗赤色となる。

せいようさんざし

Crataegus Oxyacantha L.

歐洲及び北アフリカ原産の落葉灌木で、高さ数mに達し、時に庭園に栽植される。全体無毛で、枝の変形した強刺を帯び、幼条は通常毛なく、葉は互生し、長柄あり、深緑色、卵形又は広卵形、3-5深裂し、基部は楔形又は截形、裂片は鋭頭、不齊鋸齒があり、柄の基の左右に弦月状の膜質托葉があるが、花後に脱落する。春枝梢に頂生して、白色5弁の花を繖房状につけ、樹冠を覆って満開し美しい。花序は無毛、数花乃至10花あり。花は径約1.5cm、萼は鐘状5齒、花弁は5個、円形、平開し、雄蕊多数、花柱2-3個がある。果実は略々球形、径1cm許、赤熟する。園芸品に花の周辺の赤いものがあり、*var. bicolor Rehder* という。

第 3554 図



第 3555 図



第 3556 図

